

＜記載例＞ （記載例の解説及び注意事項等は、5ページ以下を御覧ください。）

* この記載例は、権利者と義務者との合意により配偶者居住権が消滅した場合において、配偶者居住権の登記の抹消の申請を、権利者及び義務者から委任を受けた代理人が書面で申請するときのものです。

* この記載例では、権利者（建物の所有者）を「法務一郎」とし、義務者（配偶者居住権者）を「法務花子」としています。

また、権利者「法務一郎」及び義務者「法務花子」が登記の申請に関し必要な一切の権限を「登記五郎（代理人）」に委任した場面を前提としています。

※受付シールを貼るスペースになりますので、この部分には何も記載しないでください。

登 記 申 請 書

登記の目的 配偶者居住権抹消

原 因 令和2年12月1日合意消滅（注1）

権 利 者 ○○市○○町○丁目○○番地
法 務 一 郎（注2）

義 務 者 ○○市○○町○丁目○○番地
法 務 花 子（注3）

添付情報

登記識別情報（注4） 登記原因証明情報（注5）

承諾証明情報（注6） 代理権限証明情報（注7）

登記識別情報を提供することができない理由（注8）

不通知 失効 失念 管理支障 取引円滑障害 その他（ ）

令和2年12月1日申請 ○○法務局（又は地方法務局）○○支局（又は出張所）

代理人 ○○市○○町○丁目○○番地
登 記 五 郎 印（注9）
連絡先の電話番号 00-0000-0000（注10）

登録免許税 金1,000円（注11）

不動産の表示（注12）

不動産番号 1234567890123（注13）

所在 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地

家屋番号 〇番

種類 居宅

構造 木造かわらぶき2階建

床 面積 1階 43.00平方メートル

2階 21.34平方メートル

契印 (注 14)

登記原因証明情報の例 ※申請の内容に応じて作成してください。

登記原因証明情報

1 当事者及び不動産等

(1) 抹消の対象となる配偶者居住権の登記

令和2年6月10日受付第12345号配偶者居住権設定登記

(2) 当事者

権利者(甲) ○○市○○町○丁目○○番地
法務一郎(注2)

義務者(乙) ○○市○○町○丁目○○番地
法務花子(注3)

(3) 不動産の表示(注12)

所在 ○○市○○町○丁目○○番地
家屋番号 ○番
種類 居宅
構造 木造かわらぶき2階建
床面積 1階 43・00平方メートル
2階 21・34平方メートル

2 登記の原因となる事実又は法律行為

上記1の(1)の登記に係る配偶者居住権は、令和2年12月1日、権利者(甲)と義務者(乙)との合意により、同日、消滅しました。

令和2年12月1日 ○○法務局(又は地方法務局)○○支局(又は出張所)

登記原因は上記のとおりである。

(権利者)(甲) 住所 ○○市○○町○丁目○○番地
法務一郎 印

(義務者)(乙) 住所 ○○市○○町○丁目○○番地
法務花子 印

委任状の例 ※委任の内容に応じて作成してください。

委 任 状

私は、〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地 登記五郎に、次の権限を委任します。

- 1 下記の登記に関し、登記申請書を作成すること及び当該登記の申請に必要な書面と共に登記申請書を管轄登記所に提出すること
- 2 登記が完了した後に通知される登記完了証を受領すること
- 3 登記の申請に不備がある場合に、当該登記の申請を取下げ、又は補正をすること
- 4 登記に係る登録免許税の還付金を受領すること
- 5 上記1から4までのほか、下記の登記の申請に関し必要な一切の権限

令和2年12月1日

住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地
法 務 一 郎 印
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地
法 務 花 子 印

記

登記の目的 配偶者居住権抹消
原 因 令和2年12月1日合意消滅
権 利 者 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地
法 務 一 郎
義 務 者 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地
法 務 花 子

不動産の表示
所 在 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地
家 屋 番 号 〇番
種 類 居 宅
構 造 木造かわらぶき2階建
床 面 積 1階 43・00平方メートル
2階 21・34平方メートル

＜解説及び注意事項等＞【全様式共通の注意事項はこちら】

- (注1) 配偶者居住権が消滅した日を記載し、「合意消滅」と記載します。
- (注2) 建物の所有者の住所及び氏名を記載します。これは、登記記録（登記事項証明書）に記録（記載）されている所有者の表示と一致している必要があります。一致していない場合は、事前に登記記録上の住所及び氏名を現在のものに変更する登記を申請する必要があります。
- (注3) 配偶者居住権者の住所及び氏名を記載します。この記載が登記記録（登記事項証明書）に記録（記載）されている配偶者居住権者の表示と一致していない場合は、この記載した配偶者居住権者が、登記記録（登記事項証明書）に記録（記載）されている配偶者居住権者（登記名義人）であることが分かる住民票の写し等を添付します。
- (注4) 義務者の登記識別情報（登記識別情報を記載した書面を封筒に入れて提出します。この封筒には、義務者の氏名及び登記の目的（「配偶者居住権抹消」）を記載し、登記識別情報を記載した書面が在中する旨を明記します。）を添付します。
- (注5) 登記原因証明情報（3ページの例により作成したもの）を添付します。
- (注6) 登記上の利害関係を有する第三者があるとき（賃借権の登記のされている配偶者居住権の登記を抹消するとき）は、当該第三者（賃借権者）が承諾したことを証するものとして、当該第三者（賃借権者）が作成し、押印（実印）した承諾書（印鑑証明書（市区町村長等が作成したもの。作成後3か月以内のものでなくても差し支えありません。）付き承諾書）又は当該第三者（賃借権者）に対抗することができる裁判があったことを証する書面を添付する必要があります。
- (注7) 登記の申請に関する委任状（代理人の権限を証する情報）です（4ページに例があります。）。
- (注8) 登記識別情報を提供することができない場合は、その理由の口にチェックをします。
なお、登記識別情報を提供することができない場合は、登記申請書の添付情報欄には、「登記識別情報」と記載しないでください。
- (注9) 代理人の住所及び氏名を記載し、押印（認印で可）します。この代理人の表示は、委任状に記載されている代理人の表示と一致している必要があります。
- (注10) 登記申請書の記載内容等に補正すべき点（不備等）がある場合に、登記所の担当者から連絡するための連絡先の電話番号（平日の日中に連絡を受けることができる電話番号。携帯電話の電話番号でも可）を記載します。
- (注11) 配偶者居住権の登記の抹消の登録免許税は、建物1個につき1,000円です。
なお、登録免許税を現金納付する場合はその領収書を貼り付けた用紙を、また、収入印紙で納付する場合は収入印紙（割印や消印はしないでください。）を貼り付けた用紙を、登記申請書と一括してつづり、代理人がつづりに必ず契印をしてください。
- (注12) 登記の申請をする不動産（建物）を登記記録（登記事項証明書）に記録（記載）されているとおりに正確に記載してください。
- (注13) 不動産番号を記載した場合は、建物の所在、家屋番号、種類、構造及び床面積の記載を省略することができます。

(注 14) 登記申請書が複数枚にわたる場合は、代理人が各用紙のつづり目に必ず契印をしてください。